

News Release

2023年3月7日

※情報解禁：日本時間 2023年3月7日 8時01分

※本プレスリリースは、ワールドプレミアでの発表内容を邦訳したものです。

Upscaled Multiplayer、All-new KONA が 航続距離の延長と進化した機能でヒョンデの電動化ビジョンを加速

- All-new KONA は、Hyundai の IONIQ 電動化ビジョンを加速する KONA Electric を中心に B-SUV セグメントで最も充実した商品パッケージを提供
- All-new KONA Electric は、欧州仕様ではロングレンジ 65.4kWh バッテリーを搭載し、クラストップレベルの航続距離 490 km (WLTP 推定値) を達成
- OTA (Over-the-Air) ソフトウェアアップデートにより、オーナーは最新のソフトウェアで車両のメンテナンスをより便利にできると同時にコストも削減できる。
- KONA Electric は、フランク、アクティブエアフラップ、V2L アウトレット、ヘッドアップディスプレイ、i-PEDAL ドライビングモード、スマート回生システム、e-ASD (e-Active Sound Design) 、およびその他の安全装備を搭載。



ソウル、2023年3月7日 – Hyundai Motor Company は本日、デジタルワールドプレミアを開催し、先進的な安全性と利便性、クラストップレベルの航続距離を提供するオールエレクトリックモデル（EV）を筆頭にした、B-SUV セグメントにおいてスケールアップしたマルチプレイヤーとなる、All-new KONA を発表しました。

All-new KONA は、B-SUV セグメントにおいて、最も幅広いパワートレインと最も充実した商品パッケージを提供する車種の一つです。EV（スタンダード または ロングレンジ）、ハイブリッドエレクトリック（HEV）、内燃機関（ICE）の各バリエーションに加え、スポーティな N ラインの選択肢をお客様に提供します。

Hyundai Motor は、同社が 2022 年 3 月に発表した、2030 年までに新型の電気自動車（EV）を 11 車種発表するという電動化加速戦略に合わせ、All-new KONA については EV を先に開発するという従来とは違う手法をとりました。

「KONA Electric は、当社の IONIQ モデルとともに、Hyundai の EV におけるリーダーシップを強化する上で大きな役割を果たすと期待しています。この新しいモデルは、初代 KONA Electric に対する素晴らしい評価を基に、数多くの優れた機能で競合をリードするように設計されています。」と、Hyundai Motor Company の社長兼最高経営責任者である張在勲（チャン・ジェフン）は述べています。

さらに、「Hyundai は、EV 革命を単なる最新のトレンドとみなしていません。EV 革命は、業界だけでなく、社会にとっても重要な役割を果たすと信じています。私たちの EV のような環境に優しいモビリティソリューションの実現を通じて、クリーンモビリティへの移行を加速し、人類のための進歩をもたらすことができればと思います。」と加えました。

All-new KONA は、頑丈でダイナミックなデザインとアップスケールされたディメンションを持ちながらも、個性的なキャラクターは維持しつつ、あらゆる世代のお客様のアクティブなライフスタイルをサポートします。同時に、コネクテッド技術を備え、安全で快適な体験を提供する新しいテクノロジーや便利な機能を備えています。12.3 インチのデュアルパノラミックディスプレイスクリーン、

Digital Key 2 Touch を装備し、OTA (Over-the-Air) 、 Connected Car Navigation Cockpit (ccNC) などをアップデートしました。

KONA Electric は、B-SUV セグメントにおいてクラストップレベルの航続距離 (AER、all-electric range) を実現します (WLTP 推定 490km※1) 。また、EV 特有のデザイン要素として、フランク、アクティブエアフラップ、室外・室内 V2L アウトレット、ヘッドアップディスプレイ (HUD) ※2、i-PEDAL ドライビングモード、スマート回生システム、e-ASD (e-Active Sound Design) 、エコパッケージが装備されています。

※1 EU 仕様基準

※2 北米マーケットでは提供しません。

All-new KONA は、先進運転支援システム (ADAS) の Hyundai SmartSense と、レベル 2 の自律走行、前方衝突回避アシスト (FCA) 、ブラインドスポットビューモニター (BVM) 、遠隔スマートパーキングアシスト (RSPA) 、ドライバーステータスモニター (DSM) などの安全装備を新たに搭載しています。

新型 KONA は、先代 KONA と比較して、ディメンションを拡大した独特のプロポーションとなっています。EV モデルをベースに、全長は 2017 年の先代より 175mm 長い 4,355mm となり、ホイールベースは 60mm 長い 2,660mm としました。全幅は 25mm 広い 1,825mm、全高は 20mm 高い 1,575mm となります。

ディメンション:

項目		All-new KONA Electric
全長		4,355 mm (N Line 4,385 mm)
全幅		1,825 mm
全高		1,575 mm (17/19 インチタイヤ)
ホイールベース		2,660 mm
ヘッドルーム	フロント	1,015 mm
	リア	972 mm
レッグルーム	フロント	1,059 mm
	リア	925 mm
ショルダー룸	フロント	1,435 mm
	リア	1,402 mm

* 車両の仕様および機能は国/地域によって異なり、予告なく変更されることがあります。

頑丈でダイナミックな印象を与える、EV 先行型のエクステリアデザイン

All-new KONA は、従来の ICE-to-EV の開発プロセスから脱却し、EV-to-ICE のプロセスを踏んだ結果、SUV の純粋なボリューム感を強調し、頑丈でダイナミックな印象を与える EV-centric な未来的エクステリアとなりました。

空気抵抗係数がわずか 0.27 の新型 KONA は、スタイルを犠牲にすることなく空力性能に優れています。空力特性に優れたノーズとテールゲートの間には、ホイールアーチアーチャーとパラメトリックサーフェスが彫り込まれ、純粋なボリュームに個性を加えています。ベルトラインとハイマウントストップランプ (HMSL) 内蔵のリアスポイラーをつなぐダイナミックなクロームライン。EV では、ピクセル化されたシームレスホライゾンランプとピクセルグラフィックが、ユニークな印象を与えています。外装色は、幅広い層のお客様のライフスタイルをイメージし、KONA のアイコンックなデザインをより際立たせる鮮やかな色調としています。

Nラインは、ブラックミラー、ウイング型スポイラー、ブラックルーフを採用し、フロントとリアのデザインをより力強くして、低めの姿勢を強調するウイング型バンパー、ツインエグゾースト、シルバースイドスカートを装備しています。※3

※3 Nライン仕様およびオプションの提供は、トリム、バリエーションおよび市場によって異なる場合があります。

幅広いライフスタイルに対応するため、より広く、より多目的に使えるインテリアにデザイン。

Hyundai は、このモデルのスケールアップしたディメンションと EV に合わせたユニバーサルアーキテクチャに基づき、「リビングスペース」と呼ばれるより広いインテリアを設計し、幅広いライフスタイルに対応します。ドライバー中心の前列は、12.3 インチのデュアルパノラミックディスプレイを内蔵したフローティング水平 C パッドによって強調され、KONA が持つハイテクな個性が強調されています。

また、シフトバイワイヤ式ギヤセレクターをセンターコンソールからステアリングホイール後方に移設し、オープンコンソールに収納スペースを確保しました。このレイアウトにより、KONA の室内空間はより広くなり、ドライバーや乗員にとって多目的で快適な空間となりました。

さらに、ステアリングホイール周辺にすべての操作系を配置し、回転式カップホルダーを備えたオープンコンソール収納を実現することで、この印象をより強調しています。アンビエントライトは、OTA アップデートによるメンテナンスと新機能の追加もサポートしています。

前列のリラクゼーションコンフォートシート（オプション）※4 は、「無重力」の体圧分散に最適化され、運転後の疲労を軽減することができます。2 列目の「カーブレスベンチシート」は、居住性を最大限に高め、メンテナンスも容易で、2 段階ラッチで後席のリクライニングも可能です。

※4 欧州・オーストラリア市場向けのみ販売

完全に折り畳める 2 列目シートとリアコンパートメントにより、最大 466 リットル※5（VDA 方式）のカーゴスペースを確保し、積載の利便性を向上させることでお客様のニーズに高いレベルで対応します。トランクへのアクセスを向上させる便利でカスタマイズ可能なスマートパワーテールゲート

トにより、手荷物からショッピングバッグまで、あらゆるものの積み込みがこれまで以上に簡単になります。

※5 SAE 方式では 735 リットル

数々の EV 専用装備で、充実したドライビング体験を実現

KONA Electric は、「ピクセル化されたシームレスホライゾンランプ」と「ピクセルグラフィック」に加え、お客様により良い体験をしていただくために、さらに多くの機能を提供します。バッテリーのプリコンディショニングにより、冬場でも確実な充電と航続距離を確保し、充電ドア凍結防止システムにより、マイナス 30 度の環境下でも充電ドアを開けることができます。また、新たに充電ドアランプを採用し、夜間の視認性を確保しました。

HUD は※6、12 インチのプロジェクションでドライバーにとって最適な情報をフロントガラスに表示します。これにより、ドライバーは前方に注意を向けながら、素早く情報を処理することができます。また、e-ASD は、EV をより魅力的にするバーチャルサウンドをドライバーのために作り出します。走行速度、トルク、モーターの状態、加速度などの変数を考慮し、最適なサウンドを車内に加えます。ドライバーは音量を調節し、車室内のサウンドをカスタマイズすることができます。

※6 北米マーケットでは提供しません。

双方向の充電が可能な V2L (Vehicle-to-Load) 機能では、あらゆる機器への給電が可能で、室内外のコンセントで便利に使えます。車内では、EV の電源が入っている状態では、リアセンターコンソールの標準コンセントに機器をつなぐことができます。屋外では、V2L アダプターを使用して機器や家電製品をつなぐことができ、駐車時にバッテリーの電力を使用することができます。※7

※7 V2L の最大出力は市場によって異なります。

新しい i-PEDAL は、アクセルペダルのみで加速、減速、停止ができる走行モードを可能にします。スマート回生システムは、前方の交通状況に応じて、回生ブレーキの量を自動的に調整します。

OTA (Over-the-Air) ソフトウェア アップデートと多彩なテクノロジーによるコネクティビティ

All-new KONA は、OTA (Over-the-Air) ソフトウェアの継続的なアップデートにより、コネクティビティを次のレベルに引き上げ、オーナーがコストを節約しつつ、常に最新のソフトウェアで車をメンテナンスすることができます。

さらに利便性を高めるため、KONA はスマートフォンやスマートウォッチの近距離無線通信 (NFC) を利用した Digital Key 2 Touch でドアロック、ロック解除、スタートが可能で、高いセキュリティレベルを保証しています。車内では、12.3 インチのデュアルパノラマディスプレイスクリーンがオーディオ・ビデオ・ナビゲーション (AVN) システムに統合され、ドライバーに臨場感あふれるデジタル体験を提供します。

新しい KONA は、Hyundai のモデルとしては初めて、新しい Connected Car Navigation Cockpit (ccNC) を採用し、高度なグラフィックで車両ディスプレイ間の完全な調和を実現します。

駐車時には、サラウンドビューモニター (SVM) が様々な視点から車両を表示し、安全で容易な駐車を実現するとともに、効率的なワイドプロジェクション LED ヘッドランプが道を照らします。

Bose のエンジニアがチューニングした 8 つのスピーカーからなる Bose プレミアムサウンドシステム、サブウーファーは、豊かで没入感のあるサウンドを提供します。ドライバーや同乗者は、フロントの 2 つの USB-C 充電器 (データ通信対応 1 つを含む) と 12V 電源コンセント、そしてリアの 2 つの USB-C 充電器を利用することができます。また、KONA は Hyundai のコネクティビティ技術の最新版を搭載しており、音楽や映像のための Bluelink® ストリーミングサービスは追って提供される予定です。

ADAS 機能 Hyundai SmartSense の特徴

新型 KONA は、Hyundai SmartSense という ADAS 機能を搭載しており、これは他のほとんどの B-SUV にはない次世代レベルの機能で、路上で最高レベルの安全性と利便性を確保することができます。

ドライバーステータスマニター (DSM) ※8 は、車両内蔵のカメラでドライバーの顔を解析し、眠気や不注意があった場合、必要に応じて警告や介入を行います。また、リモートスマートパーキングアシスト (RSPA) は、ドライバーが遠隔操作で駐車スペースへの出入りを支援するものです。スマートキーボタンを押すと、車両が前方または後方に移動します。

※8 欧州・オーストラリア市場向けのみ販売

ブラインドスポットビューモニター (BVM) は、ドライバーが車線変更をする際に、死角にいる車両との衝突の危険性があると、アラートを発してサポートします。必要に応じて、自動的にブレーキがかかり、衝突を防ぐことができます。

KONA Electric は、交差点通過や車線変更時に、ステアリング操作をサポートして衝突を回避する前方衝突回避アシスト 2.0 (FCA2.0) などの新たな安全機能を提供します。また、先行車との車間距離を保ち、遅い先行車を追い越す際にアシストするハイウェイドライビングアシスト 2 (HDA 2) を搭載しています。

さらに、レーンキープアシスト (LKA) 、ブラインドスポット衝突回避アシスト (BCA) 、インテリジェントスピードリミットアシスト (ISLA) 、ドライバーアテンションウォーニング (DAW) 、ハイビームアシスト (HBA) などの先進運転支援システム (ADAS) を搭載しているのも新型 KONA です。また、スマートクルーズコントロール (SCC) 、ナビゲーションベーススマートクルーズコントロール (NSCC) 、レーンフォローアシスト (LFA) 、ハイウェイドライビングアシスト (HDA) など、さまざまな運転支援機能を搭載しています。※9

※9 ADAS の仕様とオプションの有無は、トリム、バリエーション、市場によって異なる場合があります。

EV へのお乗り換えを検討するお客様が増える中、多様なライフスタイルをサポートする KONA Electric の多彩な機能を、7日のローンチビデオ公開を皮切りに、「Move with the vibe」グローバルローンチキャンペーンでさらに発信していきます。ワールドプレミアビデオは、こちらでご覧いただけます。[here.](#)

All-new KONA Electric 仕様

ディメンション			
ホイールベース	2,660 mm		
全長	4,355 mm		
全幅	1,825 mm		
全高	1,575 mm (17/19 インチタイヤ付き)		
ヘッドルーム	1,015 mm (フロント)、972 mm (リア)		
レッグルーム	1,059 mm (フロント)、925 mm (リア)		
ショルダールーム	1,435 mm (フロント)、1,402 mm (リア)		
積載量			
トランク積載量	最大 466L (VDA 方式) (SAE 方式では最大 723L)		
フランク	27 L		
パフォーマンス			
最大航続距離 (WLTP 推定値)		490km 以上 (ロングレンジオプション) ※10 ※10 欧州仕様に基づく	
ロングレンジ 65.4kWh バッテリー	2WD	出力	160 kW
		トルク	255 Nm
スタンダード 48.4-kWh バッテリー	2WD	出力	114.6 kW
		トルク	255 Nm

特徴		
対応する充電インフラについて	400 V	
急速充電	急速充電器使用時、41分で10%から80%まで充電可能	
V2L	最大出力	3.13 kVA (欧州), 1.63 kVA (北米), 3 kVA (韓国)
	ポート位置	内部：リアセンターコンソール※11 ※11 北米マーケットでは提供しない。 外部：車両の充電ポート
安全便利機能	スマートセンス先進運転支援システム (ADAS) 前方衝突回避アシスト (FCA) ブラインドスポットビューモニター (BVM) リモートスマートパーキングアシスト (RSPA) ドライバーステータスモニター (DSM) ブラインドスポット衝突回避アシスト (BCA) インテリジェントスピードリミットアシスト (ISLA) ドライバーアテンションウォーニング (DAW) ハイビームアシスト (HBA) レーンキーピングアシスト (LKA) レーンフォローアシスト (LFA) 駐車衝突回避アシスト (PCA) ハイウェイドライビングアシスト (HDA) ナビゲーションベーススマートクルーズコントロール (NSCC) サラウンドビューモニター (SVM)	

	リアクロストラフィック衝突回避アシスト (RCCA) Connected Car Navigation Cockpit (ccNC) Digital key 2 Touch i-PEDAL スマート回生システム
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

カラー

エクステリア： Abyss Black Pearl, Atlas White, Serenity White Pearl, Shimmering Silver Metallic, Cyber Gray Metallic, Ecotronic Gray Pearl, Ecotronic Gray Matte, Engine Red, Ultimate Red Metallic, Soultronic Orange Pearl, Jupiter Orange Metallic, Neoteric Yellow, Mirage Green, Amazon Gray Metallic, Cypress Green Pearl, Meta Blue Pearl, Denim Blue Pearl, Denim Blue Matte and Sailing Blue Pearl,
最後の3つのカラーは2023年11月より量産開始予定

インテリア: Black Mono, Grey Two-tone, Black and Sage Green, Black and Beige, Black and Red point (Nラインのみ), Dark Gray Mono (Eco packのみ)

* エネルギー消費量の数値は確定したものではありません。上記記載の試算値のみをご利用ください。車両の仕様や機能は国・地域によって異なり、予告なく変更されることがあります。

KONA Electric は日本市場にも年内導入予定のモデルになります。

詳細な仕様や価格に関しては後日公開予定です。

- End -

※ 編集部注：製品の仕様や機能の有無は、国や地域によって異なる場合があります。

Hyundai Motor Company について

1967年に設立された Hyundai Motor Company は、200 カ国以上で事業を展開し、12 万人以上の従業員が世界中でモビリティに関する現実的なチャレンジをしています。Hyundai Motor Company は、ブランドビジョン「Progress for Humanity」に基づき、スマートモビリティ・ソリューション・プロバイダーへの変革を加速しています。同社は、革命的なモビリティソリューションを実現するために、ロボット工学やアドバンスド・エア・モビリティ（AAM）などの先端技術に投資し、未来のモビリティサービスを導入するためのオープンイノベーションを追求しています。世界の持続可能な未来のために、現代自動車は業界をリードする水素燃料電池と EV 技術を搭載したゼロエミッション車の導入に向けた努力を続けていく予定です。現代自動車とその製品に関するより詳しい情報は、以下をご覧ください。

<http://worldwide.hyundai.com> or <http://globalpr.hyundai.com>.